

とままえ

4

No.548



風かおる
人が輝き
躍動するまち



まちひと百景

ハクチョウ

白鳥がやって来た

今年も長島、香川地区の田んぼに白鳥がやって来た。最初は、約10羽を発見し、近づき撮影を試みたがすぐに飛び立たれてしまった。20分ほど探したが発見することができない。あきらめた瞬間に目の前にハクチョウの群れ42羽を発見した。

目の前に春がやって来た。

苫前町議会だより合併号

- 苫前町議会だよりNo.67 (2頁～7頁)
- 苫前商業高等学校が1級検定
3種目以上の取得率全道一 (8頁)
- 苫米食べようDAY (9頁)
- 男の初心者料理教室 (10頁)
- 手づくりのお守りで交通安全を祈る (11頁)
- もったいない精神が地球を救う (12頁)
- まなびの情報 (13頁)
- 健康情報 (14～15頁)
- 住まいる情報 (16～17頁)
- 卒業ギャラリー (18頁)

まちの人口

人口/3,926人 (男/1,842人:女/2,084人)
世帯数/1,693世帯 (3月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

苫前町議会

2007

議会報発行特別委員会

議会だより

4

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

No.67

委員長 阿部 俊一
副委員長 青木 幸隆
委員 藤田 憲二
// 猫島 優志
// 西 大志

平成19年度予算可決!! 総額56億7,673万円

一般会計 37億5,815万円

歳入



平成十九年第一回定例会は、三月五日招集され会期を十六日まで十二日間と決め、平成十八年度の各会計予算補正と関連の条例を審議し、原案のとおり可決した。引き続き、平成十九年度予算（骨格予算・義務的経費）の説明。同月七日から十四日までを議案精査のため休会とした。十五日に再開し二名の議員が一般質問を行い、町理事者の考えを質した。続いて、予算特別委員会を開会し、各会計

の予算審議が活発に議論され、原案のとおり可決した。地方を取巻く財政難の中、可決された予算は次に掲げるとおりである。

※骨格予算：統一地方選挙のある年度予算には、年間の義務的経費や継続、緊急性のある事業程度を計上した予算編成。
※義務的経費：主に人件費や公債費、扶助費など任意では削減できない経費

国民健康保険特別会計	5億9,094万円	老人保健特別会計	5億7,710万円
介護保険特別会計	3億7,913万円	簡易水道事業特別会計	1億6,220万円
下水道事業特別会計	1億5,710万円	風力発電事業特別会計	5,211万円

平成19年度各種会計予算総額56億7,673万円は、平成18年度予算(19年1月現在)の59億8,861万円に対し、3億1,188万円の減額予算となります。

平成18年度補正予算

一般会計
補正額七、〇〇九万八千円を減額し、歳入歳出総額を三十九億二、五四七万三千円とする。
国民健康保険特別会計
補正額三、九八五万九千円を追加し、歳入歳出予算の総額を五億七、五七一万二千円とする。
介護保険特別会計
補正額二八二万一千円を追加し、歳入歳出予算の総額を三億九、九二六万四千円とする。
老人保健特別会計
補正額六、八三五万一千円を減額し、歳入歳出予算の総額を六億四、四五〇万六千円とする。
簡易水道事業特別会計
補正額六六五万八千円を減額し、歳入歳出予算の総額を一億六、五〇七万七千円とする。
下水道事業特別会計
補正額一四七万九千円を減額し、歳入歳出予算の総額を一億一、二二万九千円とする。
風力発電事業特別会計
補正額二五四万二千円を減額し、歳入歳出予算の総額を六、一六八万八千円とする。

主な議案内容

専決処分報告と承認について

留萌海区漁業調整委員に一名欠員が生じたため、補欠選挙が二月決定したが速やかに選挙の執行体制及び諸準備を進める必要があり、町議会を招集する暇がないため、専決処分したものである。

平成十八年度一般会計補正予算について

留萌海区漁業調整委員会委員選挙費
七十七万三千円を追加した。
平成十九年度(株)苫前町振興公社事業計画及び予算について

・事業予算の総額は、一億八、〇〇〇万円と定めた。
・長期、短期の借入金限度額を三、〇〇〇万円とする。
・計画概要

第九期の運営に当たっては、営業収支の改善による「指定管理料」内での採算経営を最大目標とし、全社員一丸となり取り組んでいく。
十八年度に行った中小企業診断士による「経営診断」の結果を参考とし、各部門別の「具体的改善方策」の実施を中心として行うこととする。

苫前町副町長定数条例

地方自治法の一部改正に伴い、副町長の定数を一名とする。
町道路線の認定について
字長島羽幌境界(八線沢)の

旧道々一部を町道と認定した。

留萌広域行政組合規約の変更
北留萌消防組合規約の変更
羽幌町外二町村衛生施設組合規約の変更

地方自治法の一部改正により、組合規約の変更にも定める執行機関の組織等を変更するため、議会の議決が必要
人権擁護委員の推薦につき意見を求める
人権擁護委員に苫前町字苫前一八〇番地の竹橋隆至氏を推薦し、議会の承認を得た。

苫前町議会委員会条例の一部改正
苫前町議会議規則の一部改正
地方自治法の改正に伴い、所要の改正を行う。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理
助役制度の廃止など、所要の改正を行うものである。

苫前町職員給与に関する条例の一部改正
人事院給与勧告にかんがみ、町職員の管理職手当及び扶養手当の支給額について所要の改正

議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
平成十六年四月より削減している議員報酬について、行政改革の一環としてさらに削減措置

を継続する。
留萌支庁管内公平委員会共同設置に関する規約の変更
同委員会からサロベツ清掃組合の解散に伴う、規約の一部変更について議決を求めた。

主な質疑内容

西 議員

町営住宅使用料の減額で、入居者のニーズは捉えているのか、問題点・課題はないのか
介護保険特別会計において、居宅介護サービス計画費が増えたことの原因として法改正と利用者との増とどちらが大きいのか

村田建設課長
要因として、所得の高い方の退去が大きな要因で、ニーズとしては安い方の住宅が良いとの方もたくさんいる。

横野町民課しあわせ係長
法改正により、収入側では大きな要因となっている。

阿部 議員
法人税割において、予定申告と中間申告へ変わるところの意味を説明願う。

町営住宅において、所帯持ちから離婚など単身になった場合の取り扱いはどう対応しているのか。
介護予防特例高齢者において、一般と特例の基準は何か

岡田総務財政課長

予定申告は前年度実績に基づいて半分を納税、中間申告は半年を経過した時点で仮決算し、算定し納付するもの。

村田建設課長

離婚などの理由で単身になった場合、当人と協議するがすぐに退去していただきたいとは言えない。

横野町民課しあわせ係長

特定高齢者は要介護認定者になる可能性の高い方を指し、それら以外の方が一般高齢者となる。

青木 議員

町税個人滞納繰越分20万2千円減額で、これは納税者が納めきれないのか、または、決算の結果、欠損処分金となるのか

岡田総務財政課長

本年度徴収の見込みがないということ、減額するもの。

林 議員

後期高齢者医療制度関連システム整備事業について説明願う。
苫前厚生病院経営損失金4千90万円とあるが、この中身の精査はどのようになっているか

次に新日本海地域交流センター管理委託料で29万4千円の減額がでてくるが、残金の説明を願う

横野町民課しあわせ係長

75歳以上の方の資格の管理、保険料の賦課を広域連合側で行うことになり、住民基本台帳、税情報を提供するシステムの改

修と高齢者などの患者負担割合等のシステム改修を行うもの。

森 町長

苫前厚生病院経営損失については、厚生連がどのくらい運営努力をしているか詰めているが、全道9町で統一された規定があり、うちだけがどうこうとはならないこともあり、それを含めて9町の町長で話をしている。

山田企画振興課長

改修予定の部屋を変更したために生じた減額

阿部議員

下水道受益者分担金が増額で一括納入とあるが、説明を願う
次に消防施設費で953万円減額されている。救急車購入の分だと思いが、予算の過大計上ではないか、見解を伺う

村田建設課長

原則は分割納入だが、10戸の方が一括納入され、増となった。

岡田総務財政課長

参考見積りを取った上での予算計上で、競争入札の結果や資器材等で不用額が出たもの。

風力発電事業特別会計

西田 議員

売電収入減で、故障被害、災害共済金などについて説明願う

山田企画振興課長

要因は風が弱かったこと、また災害共済金と停電補償金を今回増額補正した。

一般質問

『苦前町の広域連携の現状について』



猫島議員

三位一体改革や地方分権の推進、支庁制度改革など地方自治を取巻く状況が変化する中、町は広域連携を一層強化、拡大する必要があるので認識から、現在、広域連携に関する調査研究を進めているが、次の2点について具体的な計画（建設時期、事業費、事業方針など）を含めて伺う。

答弁 森町長



1、留萌中部3町村広域連携実務研究会で調査研究を進めてきた。報告書では、3町村による広域火葬場の建設を推進すべきとの方向性を確認した上で建設時期は、平成22年度からの供用開始を目標とする。施設規模は、火葬炉2炉、ベット炉、休憩室、告別室などを整備。事業方式は、民間の経営能力、技術力を活用し、公共施設等の設計、建設、維持管理、運営を行うPFI工法が適当であること、また、事業主体を既存の羽幌町外2町村衛生施設組合とすることが望ましい。建設場所は、地理的条件から羽幌町内とし、建設事業費は約4億円（うち1億5千万円は道補助金）施設建設後20年間の維持管理費、運営費の総負担額は7億6千8百万円で本町の負担額は20年間の支払いで2億4千万円、単年度では約1千2百万円となる。

2、現施設は平成12年、14年に、約6億5千万円をかけて大改修を行い、10年間の延命措置を講じたもので現施設での処理が平成21年度まで可能となった。今後、再更新には事業費が高額で

現実的ではなく、汚水処理施設の共同化を図ることが効率的、経済的であり、下水道施設で合同処理を行う方向の協議を進めている。また、下水道でのし尿処理の施設整備については、現在、公共下水道事業を実施している羽幌町と苦前町によりミックス事業の活用を前提としている。なお、現施設の稼働予定が平成21年度を用途としていることから、施設供用予定となる平成23年度までの約1年間の維持補修等の経費が発生するものと考えられる。

『苦前厚生病院及び今後の医療介護について』



西議員

1、厚生連が全額負担を要求するに至った背景、今後の運営形態はどのように示されたか
2、その際、町へ移管、撤退という話は全くなかったのか
3、休日や夜間の救急対応について、住民周知はどう行うか
4、説明会で厚生連との関係は

堅持すると断言したが、その裏づけはあるのか
5、平成20年4月から老健施設へ移行、開始する予定としたが、介護保険事業計画、老人保健福祉計画との整合性について
6、体制の変更から特老や学校医体制はどの様になっていくか

答弁 森町長



1、介護、医療報酬の大幅な医療制度改革や、全国で38万床ある療養病床を平成23年度末までに15万床に削減するといった背景から、老人保健施設への移行を視野に入れたものがある。これらの影響などから、JA北海道厚生連全体でも大幅な経営損失が生じ、全額負担を要求してきた。形態としては、無床診療所への移管とともに介護老人保健施設、グループホーム、ケアハウス、デイケアなどの併設パターンが示された。
2、全道の所在町の首長会議で、経営形態について協議してきた。

自治体への移管や病院経営からの撤退もあり得る説明を受けた経緯がある。

3、休日夜間、救急を受け入れる体制が整わなく、全面的に中止せざるを得ない、住民周知は町広報誌、回覧板で考えている。
4、厚生病院の本来のあり方は、農業者の健康、福祉向上のための医療機関であり、目的達成のため、今後経営形態が変更されても存続すると判断した。
5、介護老人保健施設での運営として考えた場合、施設整備に関わる内容が無いいため、計画を見直す必要がある。介護保険料の増額について検討が必要。また、留萌圏域において、他の介護保険施設の整備状況との調整が必要。保健福祉圏域連絡協議会で協議が必要となる。少ない時間だが、十分検討を行いたい。
6、町が、特老施設理事者に理解頂き、厚生病院へ主治医変更の承諾を頂いた経緯がある。しかし、体制変更から日中の外来以外は受け入れ対応が出来ない状況が予測される。施設の意向を十分踏まえたうえで関与していく考えである。

委員会レポート

崩れ行く地域医療 苫前厚生病院について 熱い議論

広域火葬場の建設に関する報告
留萌中部地域（初山別、羽幌、苫前）で構成する地域振興協議会は、火葬場の建設が三町村に共通した課題と認識した。

過日事務担当者レベルで調査研究をした。その結果は次のとおり。

老朽化が著しい既存施設の現状及び行政経費の縮減を図りながら、行政サービスの向上や適切な施設管理を行うために、広域による火葬場建設を推進する。

産業厚生 常任委員会

平成19年
2月14日
開催

平成十九年度羽幌町外二町村衛生施設組合予算が示された

総額 四億八千万円

起債償還は平成三十年年度で完了する。

国営造成施設管理体制整備事業の実施

苫前土地改良区が平成十九年度で実施予定している、三溪ダム及び西古丹別頭首工の改修工事については、受益者の負担を軽減するため、道営事業から国営事業に変更するものである。森林整備地域活動支援交付事業について

この事業は、森林の持つ公益的機能の発揮に向けた適切な森林整備の実施に必要不可欠な地域活動を支援するとともに、森林集約化を図るために必要な情報収集活動を支援する。

事業費 六七五万円

総務文教 常任委員会

平成19年
2月14日
開催

北留萌消防組合の平成十九年度予算が示された

総額一億七、九六〇万円

年の主なる工事は、消火栓の取替えが二ヶ所、改修が三ヶ所、工事費二七二万円が計上された

苫前商業高校入試出願状況及び存続対策関連事業について
入試出願状況は募集定員四〇名に対し、三十四名の出願があり、前年度より二名の増加である。

高校存続対策事業は昨年に引き続き、存続対策及び地域活性化策として平成十九年度も後援会に対し助成を予定
補助額 八九四万円

全員協議会

平成19年
2月13日
開催

福祉センター大ホール外部柱脚補修について

平成十六年十二月の地震により主要構造物の柱及び筋かいの損傷が経年劣化も手伝い、危険であると判断し、補修を行うものである。

補修内容は、外部から柱脚部の横ずれを防ぐため、コンクリートで柱脚部を巻き込み動きを防ぐもの、あくまでも応急の補修である。

事業費 一〇〇万円

水産鮮度保持施設建設事業について

北るもい漁協は、四町村が合併した広域漁協である。水産物等の鮮度保持用の氷の供給や冷凍、冷蔵業務は苫前と羽幌を中心にやってきた。しかし、既存の施設はいずれも老朽化が進んでおり、新たな施設が必要となっている。

施設整備に当たっては、漁獲量の多い羽幌を物流の拠点とし、建設用地の確保が可能な苫前を水産物保持施設の拠点として集約化し、漁協運営の効率化を図る。

施設規模
製氷、貯氷、冷凍、冷蔵施設一棟（二階建て）
事業費 五億三、〇〇〇万円

農地、水、環境保全向上対策について

農業集落では、過疎化、高齢化の進行、農業の担い手不足により集落機能が低下し、農地及び農道、用排水路など適切な管理が困難になっている。

このため、農地や水などの資源保全とその質の向上を図り、将来にわたって農業農村の基盤を支えるため、地域共同活動に対し、支援するものである。

実施期間
平成十九年度より五年間

交付対象面積 九一六ha
保全活動内容
農地施設の点検、草刈、排水路の泥上げ、農道の補修など。

支援活動交付金
二、六〇〇万円
(国五〇、道二十五、町二十五)

行政改革 特別委員会

平成19年
1月15日
開催

苫前町議会議員報酬について
現在の一〇％減を平成十九年五月以降も継続する。ただし、新たな議員でより一層の削減を実施する可能性もあることから、期間限定はしない。

全国町村議会議長会表彰

町議会議員十五年以上の在職者に対し、自治功労表彰が次の議員に贈られました。

三月五日開催の定例会席上、星野議長より伝達されました。

- 年代芳則 議員（十五年九月）
- 小阪伸一 議員（十五年九月）
- 間宮英明 議員（十五年九月）
- 林 秀行 議員（十五年九月）
- 柴田文夫 議員（十五年九月）
- 藤田憲二 議員（十五年九月）





阿部委員長（右）と池田議会事務局長（左）

平成19年度予算審査特別委員会

委員長 阿部 俊一

財政難を乗り切るため 英知を集結

主な予算質疑

一般会計

質 西 委員

「道の駅」が開業し、「ふわつと」に管理委託されるが、委託費をどうする、次に「風車まつり」、今年度の予算320万円の積算、その内容と主な主眼は何か。

答 山田企画振興課長

「道の駅」委託費に関しては、人件費、水道費、清掃費などが考えられる、利用者による売上げ増で相殺できるものと考えているが、推移を見て振興公社と協議していきたい。「風車まつり」に関しては昨年同様に食と観光、各産業の振興に努め、今後、実行委員会にて詰めたいと考えている。

質 西 委員

不確定な「道の駅」の利用者で委託費を賄うのではなく、予算を計上すべきだ。次に「風車まつり」もエージェンツ企画から、地域住民へのシフトを考えると頃だと思つた。

答 山田企画振興課長

「道の駅」は19年度実績を踏まえたい。第4回となる「風車まつり」は手作りのイベントを重視し実行委員会に提案したい。

質 浅井委員

福祉有償運送事業は、タクシイの無い古丹別地区など利用者が喜んでいて。現状での利用者数や地域ごとの利用料金を提示願いたい。

答 横野町民課しあわせ係長

現在、利用登録者は42名、延べ数で439名、利用収入が26万5500円であります。詳細には後ほど資料を提出します。

質 浅井委員

住民に喜ばれ、大切な事業である、継続性を重視し慎重に運営すべきだ。

答 斉藤助役

老人福祉は重要課題であり、今後、法律改正などにも慎重に対応して行きたい。

質 青木委員

町税収入の調整率が今年度より、99%から90%に変更している理由は何か。

答 岡田総務財政課長

近年の景気低迷による収納率の低下、並びに予算の過大見積もり回避など危惧しての対策ですが、徴収には努力したい。

質 青木委員

高校対策費負担金での国際交流事業は昨年より一名増の三名で予算されている、根拠は何か。

答 伊藤管理課長

昨年は企画会社の都合により事業が中止となった。生徒募集のPRでも明記しており、募集の目玉となっている、理解願いたい。

質 西田委員

風力発電事業者からの協力金が、年々減額している理由は何か。

答 山田企画振興課長

事業者の協力金は売電収入の2%であり、設備利用率が低かったものです。

質 林 委員

庁舎管理業務は第四次行政改革実施案に記載あるが、実行のスピードも必要と思う。

答 岡田総務財政課長

昨年より150万円減額をした。地元雇用の問題もあり、今は段階的に減額を考えたい。

質 林 委員

「ななかまど」管理委託料で指定管理者契約より増額となっている、フロント会計機リース料は管理契約に入れるべきものと考えている。

答 山田企画振興課長

損害保険が未計上、並びに会計機は劣化の想定外でした。本来は指摘のとおり指定管理者契約の中で処理すべき事項かと考

えます。

質 林 委員

海岸漂着流木等の清掃事業は平成15年から3年間、国費で雇用対策事業として予算されているが、補助がなくなっても町費で計上されている。厳しい予算の中では知恵が必要でないか。

答 山田企画振興課長

今後は職員による作業や、予算の執行に関しては低廉な価格などを考慮し実行したい。

質 林 委員

現況の財政の中でイベントへの予算は考えられない、職員は自らの給料を下げてでもすべきと考えているのか。

答 山田企画振興課長

イベントは、地域振興や経済効果などに十分応えるなど、今後も必要と考えます。

答 斉藤助役

予算編成においては、対前年度5%を減額するなど財政の厳しさは十分に認識しています。港の整備なども関連しますが、年一回の祭りとして理解頂きたい。

質 西 委員

古丹別学園通り局部改良工事、この道路は隆起が激しい。どの程度の改良か。

答 村田建設課長
80m区間で舗装面の改良、歩道の改修が主な工事で、応急的なものです。

質 西 委員
地域防災計画素案作成事業では旧計画の加除と思うが、新規に加わるものがあるのか。

答 岡田総務財政課長
近年の災害等を加味し、危機管理マニュアルの整合性、道との調整など含め素案が作られません。

質 林 委員
道路排水管清掃業務予算が増額となっている、理由は何か。

答 村田建設課長
例年、予算を削減して来た結果、管の詰まり箇所が多くなり対応での予算計上です。

質 林 委員

防雪柵管理業務委託料は昨年の事故により、新設されたものと思うが、職員による点検等も徹底すべきだ。

答 村田建設課長
事故の撲滅を考え、業者に委託するものであるが、職員での管理も徹底していく。

質 小阪委員

福祉センターの改修及び補修工事について詳しく説明願う。

答 伊藤社会教育課長
便所の悪臭対策と地震劣化による柱脚部補修であり、応急的なものである。

質 小阪委員
センター建物自体の劣化が激しく、今後の建物使用についてどう考える。

答 伊藤社会教育課長
センターは地域住民にとり必要不可欠な施設と考えているが、施設の存続に関しては、財政を鑑み考慮したい。

質 青木委員

「ココカピウ」の製氷機購入52万円であるが、市販「氷」を利用すべきでは、次に町営住宅等修繕費予算の組み、修繕内容について伺う。

答 山田企画振興課長
使用料を徴収しており、契約の中に製氷機が入っています。

答 村田建設課長
予算は前年実績であり、屋根等の多額な物件でなく、住宅内での小さな修繕費用です。

質 柴田委員

牧場費で預託牛の受胎率が悪い。改善すべき対策を示せ。

答 河端農林水産課長
今後の対応としては、飼料の配合など預託者と協議し、改善に努めたい。

国民健康保険特別会計

質 西 委員

退職者被保険者等療養給付費で該当者が増えているが、給付は減額となるとの説明であるがこの予算で対応できるのか。次に習慣病に対する計画であるが、研修内容など取組をどう考えている。

答 保健師の仕事が多岐にわたるが、対応できるのか。

答 横野町民課しあわせ係長
給付費では、高額な入院の多発を懸念している。次に計画ですが、医療費分析を行い、検診の実施、数値目標などを盛り込み、研修等を実施したい。

答 開発町民課主幹
保健師業務が多忙となり、業務を進める中で増員も検討したい。

下水道事業特別会計

質 西 委員

下水道事業の工期が住民説明会では変更になっている、過疎債の適用も含め再度説明願う。

答 村田建設課長

議員への説明時に工期が長いとの指摘があり、内部で協議し変更しています。

答 斉藤助役

過疎債に関しては、国のはたらしきもあり継続されると予測している。

ている。

質 西田委員

下水道普及率を示せ。

答 村田建設課長

2年間経過し、18年度は20%の普及率です。当初計画どおりに移りまして。

総括質疑

質 西 委員

枠配分方式予算による弊害、行政サービスなど、どう見ている。

今後の予算編成の課題、改善方法は何か、財政健全化計画を示し願いたい。今後、社会福祉が懸念される、国保会計等保険料など、どう考えている。

答 岡田総務財政課長

財政健全化計画は国の動向に左右され難しいが、19年度中には示したい。

答 森 町長

行政のスリム化を進めながらもサービスの低下を防ぎたい。予算編成の課題は起債の償還を下げる事に注視したい。保険税率に関しては研究中であるが、町民に大きな負担とならないよう努めたい。質問の各課予算並びに学校の体制なども人口の推移、町の体制を見ながら改善していきたい。

質 林 委員

職員の意識改革が必要だ。良く働き、物を大切にし、辛抱する、この事を再度考えて欲しい。起債の利息償還においても、据え置く事なく進めるべきだ。入札制度を含め、財政の切り盛りを念頭に執行すべきだ。教育委員会には、その姿が見えて来ている敬意を表したい。

答 森 町長

町民負担を軽減するよう、職員間での消化に努めている。起債の据え置きについても、17年度以前はなかったが、今後は指摘のとおり検討したい。財政健全化に向けご意見を聴取し、反映していきたい。

今年は統一地方選挙の年です。
私たち編集メンバーが担当する議会だよりはこの号で最後となります。
四年間試行錯誤の中、発行してきた議会報ですが、読みにくい点など多々あったと思います。
これまでご愛読くださりありがとうございました。

議会報発行特別委員会

苫前商業高等学校 1級検定3種目以上の取得率全道一 生徒も先生も頑張った

(財)全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定、ワープロ検定、情報処理検定、商業経済検定、英語検定、珠算・電卓の各種検定において、苫前商業高等学校(眞屋岩男校長)が、1級検定の3種目以上の取得率全道一の栄冠に輝いた。

3種目以上に14人合格し、うち3名は5種目に合格するなど、商業高校としての成果が顕著にあらわれた。

検定は、年に1~2回実施され、受検を希望する生徒には補習計画などを立て、放課後をはじめ土曜日や日曜日、長期休業期間にも指導を行っており、眞屋校長も加わり簿記の指導を行った。

5種目に合格した棟方さんは「あきらめたこともあったが、先生方に励まされ5種目に合格できてうれしい、卒業後は専門学校でイラストデザインを学び、この経験を生かしたい」と話し、竹花さんは「無理だと思ったが補習を受けながら頑張ることができた。これからもこの努力を続けて行きたい。卒業後は、専門学校に行き空港で働きたい」と話し、目澤さんは「3年間頑張って良かった。将来はこのことを役に立て、看護師を目指します」と話し、3人の心はすでに将来の夢に向かい輝いていた。

眞屋校長は、「先生方の粘りある指導と生徒の頑張りが相互に信頼関係を強くし、このような成果が生まれた。とてもうれしいです」と感想を述べた。

今後とも地域と連携を図りながら、信頼される学校として、教職員一丸となった取組を推進する。



1級3種目以上合格者(敬称略)

5種目 竹花沙織、棟方杏梨、目澤真未

4種目 太田卓実、立石広大、堀切恭平、水野圭介、杉野美穂

3種目 奥泉大輔、後藤 淳、瀬川忠生、立崎祐也、谷田奈々、山田千尋

「文芸」

苫前町文芸を語る会

(短歌)

温もりの残る冬着と畳みつつサクラ前線テレビで見ている
古丹別 木幡とく子

あなたへの侵入角度測りつつ春まだ寒きと五感をすます
古丹別 大矢根亮子

孫の掌と思はず程に朴の芽の膨らみて皆天を指しとり
栄 浜 横内 弘子

孫達の婚礼出席かなわずにせめて祝いの一首送らむ
長 島 水谷 露子

(俳句)

春雨や 道行く人に 軒とくす
古丹別 林 千代美

春と呼ぶ 赤茅柳の ねこ毛かね
古丹別 桑 風

川柳

子等集う 米寿あの世へ 又一步
古丹別 運上 吉雄

やん衆の 声なつかしい 海の色
古丹別 今新きみ子

毛あらしの 風情と隠す 温暖化
古丹別 斎数 範章

一日と 遺影と語り 床につき
古丹別 関 武

改革の 度到家計簿 増す赤字
(文責・鎌田) 古丹別 鎌田 信夫

深澤教育局長から教育実践表彰
を受ける



竹内教育長へおぼろづきを
手渡し花井さん



とままい 苦米食べようDAY

花井秀昭さん管内教育実践表彰受賞の
お礼におぼろづき30キロ寄贈

二月二十三日、留萌管内教育実践表彰と教育課程実践研究成果論文表彰式が留萌市のホテルカクセンで行われた。

当町からは、花井秀昭社会教育委員(岩見)が教育実践表彰を受賞したほか、苦前・古丹別各小学校が教育課程実践研究成果論文表彰の優秀賞を受賞し、深澤正留萌教育局長から表彰状が贈られた。

花井さんは、平成元年から十七年間、社会教育委員として本町の社会教育の推進に寄与しており、特に、当町が平成八年から実践している「学社融合事業」において、自らの水田を一年間を通じて開放し、田植えや稲の生長過程、稲刈り、米の流通などをわかりやすく指導しており、実践的でわかりやすい指導は、父母や先生からの信頼も厚い。

花井さんは「今後も農業のすばらしさや地元農産物、海産物の良さなどを知ってもらいたい」と受賞の感想を述べた。

三月五日には、教育長室を訪れ受賞のお礼にと、おぼろづき三十kgを竹内教育長へ手渡した。

竹内教育長は「当町の学社融合事業はじめ教育全般において、花井さんのご尽力が認められてうれしい。今後ともよろしくお願いたします」と御祝の言葉を述べ、「学校給食で週一回ほど行っている、「苦米食べようDAY」のお米として有効に活用します。児童・生徒にも喜んでもらえると思います」とお礼を述べた。

高橋茂夫さんに高齢者叙勲 町議として20年間、地方自治振興に功績



松田地域振興部長(左)から伝達を受ける前田さん(右)

3月9日、元苦前町議会議員の高橋茂夫さん(大正8年1月2日生:88歳)の長年にわたる地方自治振興発展の功績に対して、高齢者叙勲の「旭日单光章」が授与された。

当日は、北海道知事に代わり留萌支庁の松田誠一地域振興部長より前田久義さんへ伝達が行われた。高橋さんは昭和42年5月から昭和50年4月、昭和54年5月から平成3年4月までの通算5期20年間、議員として在職し、議会の円滑な運営に尽力され、当町の産業、経済の向上に多大な功績を残した。高橋さんは、札幌市にて病氣療養中のため出席できなかったが、息子さんにあたる前田久義さんが代理出席して受け取った。前田さんは「本来であれば本人が出席したかったと思う。きっと喜んでいてと思います」と話し、しばし町長室で歓談した。

川森光治北留萌消防組合苦前支署長 消防庁長官永年勤続功労章受賞

3月14日、川森光治北留萌消防組合苦前支署長(60)の消防庁長官永年勤続功労表彰の伝達式がとままえ温泉ふわっとで行われ、森町長から本人へ手渡された。川森支署長は、昭和44年から38年間にわたり、消防業務を遂行し、集中豪雨による河川氾濫の阻止や火災時の適切な戦術指示により、被害を最小限に止めるなど数々の実績を上げた。また、消火活動等だけではなく、未然防止活動として、一般家庭の防火指導や町内会の防火研修会の開催など防火思想の啓発に努めた。

森町長は「当町の消防業務がここまで振興発展できたのも、川森支署長のおかげです」と感謝の言葉を述べた。川森支署長は「この受賞は恵まれた諸先輩のご指導と優秀なスタッフのおかげです。」と謝辞。また、当日は、加藤興一副団長の送別会も行われ、出席した約30人の関係者は、これまでの二人の活躍に感謝しながら、一層の交流を深めていた。



森町長(右)から伝達を受ける川森支署長

やればできる

男の初心者料理教室

二月二十七日、町公民館で成人講座「男の初心者料理教室」が開催された。

日頃あまり台所に立つ機会のない男性や身の回りのことを任せきりの男性が多いことなどから、家族のために料理をつくるきっかけや自分のことは自分でできるきっかけにと、主に六十歳以上の方をターゲットに募集をしたところ十三人の参加があった。

町の鍵山栄養士が講師を担当し、「豚汁」「白菜のごま和え」「ひじきのサラダ」「かつお」と「梅」のおにぎりづくりに挑戦した。

教室開始の二十分前には全員が集まるほどで、「やる気満々」予定時間より早めに教室がスタートした。

参加者は、壁に貼られたレシピを見ながら、「次は大根とにんじん、ごぼうを鍋に入れ、最後に愛情を注ぐ」など、冗談がたくさん飛び交っていた。

鍵山栄養士からは「お酒の適量を知っていますか」と「BMI」について講話があり、お酒を飲むときは、水分が放出しやすいので、水やお茶を間にはさみながら飲むことが重要と注意を促した。

BMIとは、身長と体重の割合を示したもので、「体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)」で、二十前後が適正体重で、二十五以上だと肥満。参加者はさっそく計算機を手にしながら苦笑いしていた。

試食では、「うまい」「少し薄味かな」などと感想を述べながら、楽しく昼食時間を過ごしていた。



豚汁づくりに奮闘する参加者

家庭教育サポート企業制度

2月26日、町公民館にて北海道教育委員会が昨年9月に新設した「北海道家庭教育サポート企業等制度」に、当町の橋場産業株式会社（橋場幸一代表取締役社長）と渡部工業株式会社（渡部一男代表取締役）が協定を結んだ。道教委が行政と民間企業が一体となり家庭教育推進の環境づくりに取り組む参加企業、団体を募っていたもの。締結した2社については、道教委のホームページに取り組みを紹介し、企業・団体をPRするほか家庭教育関連の啓発資料を配付しサポートする。橋場産業は、地域の子どもの対象とした職場（工事現場）見学や体験を実施し、実際の工事がどのように完成していくかなどを学んでもらうことや従業員の家庭において、子どもが早寝・早起きをし、親子で朝ご飯を摂るように働きかけを行うなど、基本的な生活習慣を身につけさせる。渡部工業は、自社のトラックを活用して、交通安全教室の開催や従業員家庭において、子どもが参加可能な地域イベント等に積極的に参加するように呼びかけるなどの取組がある。



締結を終え握手をする渡部社長(左)と深澤留萌教育局長

雪合戦が玉入れ、ペタンク、ヴィクトリスロー 雪不足が思わぬ効果

3月4日(日)とままえ温泉ふわっとホールにて、第8回苫前町雪合戦大会が行われた。雪不足等のため急きょ、代表者会議が開催され「玉入れ」と「ペタンク」「ヴィクトリスロー」の3種目による内容に変更し、大会名は変更しないことに決定した。当日は、中国チームや留萌管内の英語指導助手(アメリカ、カナダ、イギリス)など町内外から9チームが参加した。開会式で主催者の伊藤通康スポーツセンター長が、参加チームに合わせ、中国語と英語、日本語であいさつし、3種目総当たりの熱戦が繰り広げられた。

気軽に誰もが簡単にできる種目ばかりであるが、いざ対戦となると各選手は必死になり、気合いを入れて勝負に挑んでいた。参加選手の一人は「ペタンクを始めてやりました。こんなに楽しいものとは思わなかった。また、挑戦したい」と感想を述べた。試合結果は、3年連続で古丹別中学校Aチームに栄冠が輝いた。



ペタンクでは一投一投に歓声が上がった

子どもを事故に遭わせない

手づくりのお守りで交通安全を祈る

三月十二日、町商工会女性部（渡部豊子部長、山本美智子、木全澄子副部長）の三人が教育長室を訪れ、苦前神社で御払いを受けた手づくり鈴のお守り百五十個を寄贈した。

渡部部長は、「町内の子もたちに交通安全のお守りとして活用して下さい」と手渡した。

竹内教育長は、「忙しい中、女性部の事業の一環として作成いただきありがとうございます。子どもたちが交通事故に遭わない遭わせないように努力します」とお礼を述べた。

この鈴は、町内の新一年生と保育園（所）全員に手渡される。十三日には、沿岸バス（株）



手づくりのお守りを
手渡す渡部部長



ランドセルカバーを
手渡す檜森社長



の出口治療代表取締役社長が訪れ、手提げ袋三十枚が寄贈された。また、高齢者事業団（鎌田信夫会長）からひょうたんマスコット二十七個、苦前婦人会（斉藤玲子会長）からは、カエルなどのマスコット3種類百五十個、古丹別婦人会（林千代美会長）からは、交通安全ワークブック十四冊。また、三十日には、（有）藤観光バスの檜森正春社長が訪れ、ランドセルカバー三十枚を寄贈した。

（有）藤観光バスからの寄贈は昭和四十九年から継続されており今年で三十三回目となる。寄贈いただきました皆様により感謝いたします。

留萌中部森林組合

通常総会開催

二月二十六日、留萌中部森林組合（橋本昭雄組合長）の通常総会が町公民館で開催された。

橋本組合長は、「道産材の需要が高まってきているがまだ価格に反映されていない。今後の動向に期待したい。また、管内の合併については、合併の方向で進めることを協議会で確認された」と述べた。

議案はすべて原案どおり可決された。役員改選も行われた。役員は、理事 橋本昭雄、川端武、田口文雄、立松松雄、山田治生、鴨田清春、石川保昭、野田幸一、中島巖 監事 長島純、石山保雄、関哲男（敬称略）



総会の様子

礼儀正しくひなまつり

三月二日、苦前保育園（打田美智子園長）と古丹別保育所（川森のり子所長）で、ひなまつりが行われた。

苦前保育園では、園児らが全員で「あかりをつけましょぼんぼりにお花をあげましょ桃の花」を元気に歌い、打田園長と元園長の坂川玲子さんが全員にお茶を振る舞った。

園児らは、七段ひな壇の前の赤いじゅうたんに正座し、お茶の作法を学びながら和菓子と抹茶をいただき、ひな祭り気分を満喫した。



お茶の礼儀作法を学ぶ園児

苦前中学校で

校内カルタ大会

二月二十七日、苦前中学校（松本三樹雄校長）で校内カルタ大会が行われた。

当日の読み手を担当したのは、苦前地区でカルタの指導をしている、小野寺正博さんと佐藤関夫さん。各学年AチームからDチームまで各4チームを編成し、学年別の対抗戦方式で熱戦が繰り広げられた。1位は3年生の7勝1敗、2位は4勝4敗で2年生、3位は1勝7敗で1年生となった。



学年対抗で行われた校内カルタ大会

もったいない精神が地球を救う!!



3月3日(土)午前10時より町公民館で、リサイクル広場が開催された。公民館の乳幼児を対象とした事業などに参加したお母さんたちから、子ども用のおもちゃや衣類、絵本、靴など家庭で眠っている各種用品約300点が集まり、エントランスホールに陳列された。これらはすべて無料提供。当日は、お宝ものを手にするため、午前10時前から玄関前に整列する方もいるほどの盛況ぶりで、約120点の行き先が決まった。

最近あまり耳にすることがなくなった「おさがり」をこのような「リサイクル広場」により、「捨てずに活用してもらえることは、出品する側もいただく側にとってもありがたい」との声。物を無駄にしない「もったいない精神」が地球に必要なかもしれない。

古丹別中学校3年生が幼児保育を体験!!



2月23日、町公民館で、「なかよし広場」(主催公民館)が開催された。今回は、古丹別中学校(真田正校長)の3年生12人が、家庭科の授業の一環として、幼児保育を体験した。なかよし広場は、子育て真最中の母親が子育ての不安や親子の交流の場として、月2回開催している。生徒たちにとっては、授業で学んだことを実習する場として「なかよし広場」を活用した。

生徒は、子どもたちとふれ合いながら一緒に遊び、お母さんたちに、子どもを生むときの気持ちや子育ての苦労などを質問し、お母さんからの回答を一生懸命にメモしていた。向野信哉くんは「子どもと遊ぶのは楽しかった。お母さん方の話を聞いて、育児って大変なことだと思った」と感想を述べていた。



完成を喜ぶ参加者の皆さん

三月十六日、旭地区の脳刺激訓練教室が、旭克雪センターで開催された。
旭親老人クラブ(寺林正会長)会員十一名が参加し、二日間をかけて樹脂粘土を使い、「イチゴの置物づくり」に没頭した。
講師は、樹脂粘土サークル所属する酒井佳代子さんと芳賀良子さん。酒井さんは「皆さん手際が良く、思ったより早いペースで作業が進みびっくりしました」と感想を述べ、参加者からは「葉のしなやかさを出すのが難しかった」、「また、作ってみたい」と完成したイチゴの置物を手に笑顔で話していた。

樹脂粘土は楽しい



卒業記念作品と一緒に記念写真

三月十九日、翌日に卒業式を迎えた苦小六年生(中井清校長)十一名が力を合わせて、一生懸命に手づくりした万年カレンダーが完成した。
作品づくりには、苦前町総合技能士会(松田弘会長)の横内吉弥(74歳)さんが、二回ほど学校を訪問し、こどもたちのお手伝いをした。
万年カレンダーの大きさは、縦九十cm、横四十五cmほどのもので、その月ごとに数字を自由に動かすことができ、とても見やすいカレンダーである。
最後に子供たちからお礼の言葉と記念品を手渡された横内さんは、卒業式を前に涙ぐんでいた。

苦前小学校六年生
卒業記念作品完成

5月1日からオープンする文化施設・スポーツ施設

苫前町郷土資料館

開館期間：5月～10月

開館時間：10：00～17：00

入館料：大人 210円 小人 100円

休館日：月曜日 祝日の場合は火曜日
夏休み期間は無休

苫前町野球場

開設期間：5月～10月

開設時間：9：00～21：00

夜間照明使用料：20分310円

苫前パークゴルフ場

古丹別リバーサイドパークゴルフ場

開設期間：5月～10月

開設時間：6：30～日没

用具貸出：スポーツセンター、苫前町郷土資料館、とままえ温泉ふわっと

苫前町B&G海洋センター

開館期間：5月～9月

開館時間

区 分		午前 10時～12時	午後 13時～17時	夜間 18時～20時30分
5・6・9月	火～金曜日			
	土・日曜日祝日			
7～8月	火～日曜日祝日			

入館料

区 分	小中学生		高 校 生	一 般
	1 回 券	シーズン券	1 回 券	1 回 券
町 内	50円	500円	100円	210円
町 外	100円		210円	300円

休館日：月曜日

祝日の場合は火曜日

夏休み期間は無休

チャレンジデー 2007

5月30日（水）島根県海士町^{あま} vs 苫前町

チャレンジデーは、5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間、15分間以上の運動を行った人の参加率を市町村単位で競い合う住民総参加型スポーツイベントです。昨年は89.1%（3,672人）の参加をいただき見事勝利を収めることができました。苫前町は今年で5回目の参加となりますが、まちの連帯感を高め住民の参加と健康づくりにチャレンジすることを目的に実施します。皆様の参加と協力をお願いします。

海士町ってどんなまち？

海士町（あまちょう）は、島根県にある隠岐諸島の島前3島のひとつ中の島に位置し、人口約2,500人のまちです。美しい自然と豊かな人情を大切に、住民一丸となった特色あるまちづくりを進めています。



一緒にやりませんか？

現在、色々な団体がまちづくり活動を実践しています。その企画や実施などに一緒に参加する方を探しています。あなたが参加することのできる事、空いている時間で結構です。特別な技能などはまったく必要ありません。あなたのチカラ、まちづくりにいかしませんか？お問い合わせは公民館へ。

子育てメルマガ 子育て中の親にメールマガジンを配信。内容をみんなでワイワイ作りましょう。

子どものたまり場 放課後の時間に子どもにスポーツ体験を。企画や実践のほか見守りなども。

図書室サポーター 読み聞かせや子ども向け事業もしています。企画から実際の活動にも。

その他なんでも あなたの特技や趣味がまちづくり活動につながります。

～あなたの学びたいを応援します～

ご相談・お問い合わせは 苫前町公民館

でんわ 65 - 4076

FAX 65 - 3220

e-mail syakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp

健康ばんざい

心の健康

今月の担当は築瀬保健師です。

人間関係や環境の変化のあるこの時期に、心の健康について考えてみたいと思います。

Q 環境の大きな変化はありますか？

A 転勤や人事異動など、この時期は色々な環境の変化がある時期です。また、家庭内の変化から大きなストレスが発生することもあります。

Q ストレスって何でしょう？

A ストレスは簡単に言うと「刺激を受けた時に生じる、心や体のゆがみ」のこと。このようにストレスと聞くと悪いイメージがあると思いますが、受け取り方や程度・種類によっては良い刺激となり、やる気へのプラスエネルギーとなるものです。しかし状況によっては、体調不良やうつ病などの病気を招いてしまうこともあります。



ストレスに
強くなりましょう！

- 1、疲れた時には十分休む。
- 2、一度に多くの事をしない。
- 3、家人や友人とよく話しをする。
- 4、周囲の言葉に耳を傾ける。
- 5、置かれた環境を十分認識する。
- 6、時には一人つきりになる。
- 7、余暇を大切にす。
- 8、負けるが勝ちを心がける。
- 9、身体の健康に留意する。

平成19年度
乳がん
子宮がん
検診
のお知らせ

苫前町では従来、年に2回（6月・12月）乳がん・子宮がん検診を合わせて行ってきました。しかし平成19年度は医師の派遣の関係で1回目の6月は、乳がん検診のみの実施に変更となります。

6月13日(水)

乳がん検診

～定員90名

会場：苫前町福祉センター

12月9日(日)

乳がん・子宮がん検診

～定員：子宮がん230名

乳がん90名

会場：苫前町公民館

* 申込みについては、近い時期になりましたら、改めて回覧にてお知らせ致します

問い合わせ

苫前町役場町民課けんこう係
(64) 2215 内線227

Dr.小野の処方せん

サプリメント

サプリメントとはハーブ、ビタミン、ミネラル、アミノ酸などの栄養成分を1種類以上含む「栄養補助のための製品」としており、健康に有用な機能性を持つと厚生労働省が認めた食品は「特定保健用食品（特保）」とされている。

ところで現代人は植物性蛋白質は、やや不足気味でカロリーは過剰摂取している。ミネラルでは、塩分とリン酸塩の摂取量が過剰で、それ以外のビタミン、ミネラル、食物繊維が不足している。摂取したカロリーを効率よく過不足なくエネルギーに変換するには、それに見合った量のビタミンをはじめとする副栄養素の摂取が必要である。抗加齢に対するサプリメントの主な役割は、抗酸化作用や免疫不活化作用をねらったものでビタミンC、ビタミンE、グルタチオン、リボ酸、コエンザイムQ10などが抗酸化作用を持つ。また、悪性腫瘍の予防および治療補助を目的としたサプリメントもある。サプリメント使用時の注意事項は過剰摂取による副作用と医薬品との相互作用などで摂取方法の工夫が必要である。

苫前クリニック院長 小野 哲郎

苫前町の交通事故情報

平成18年2月末現在

発生件数	死者数	負傷者数
0件	0人	0人

交通事故死ゼロ日数は

2月28日現在で1032日

4月 町税の納期

今月は、
軽自動車税
の納入月です。

納期内納入にご協力願います。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド



国保・老健Q&A

Q 国保の届出について教えてください。

A 国保の加入は世帯ごとになります。国保の届出は14日以内に世帯主が行わなければならない。

国保に入るときは

こんなとき

他の市町村から転入した日
(職場の健康保険などに加入していない場合)
職場の健康保険などをやめた日(退職日の翌日)
子どもが生まれた日
生活保護を受けなくなった日
加入の届け出が遅れると?
被保険者になった時点(届出日ではありません)までにさかのぼって保険税を納めなければなりません。

ばなりません。また、保険証がないため、その間の医療費は全額自己負担になります。

国保をやめるときは

こんなとき

他の市町村へ転出した日の翌日、またその日
職場の健康保険などへ加入した日の翌日
死亡した日の翌日
生活保護を受けはじめた日
やめる届け出が遅れると?
資格がなくなつたあと、国保を使って診療を受けた場合、国保で負担した分の医療費は返していただくこととなります。また保険料が二重払いになってしまつてもあります。

お問い合わせ先

苦前町民課しあわせ係
0164-64-2215(226)

メタボリックシンドロームを防ごう

メタボリックシンドロームのベースになる内臓脂肪は、つきやすい反面、減らしやすい脂肪でもあるので、食生活や運動習慣を改善して、おなかの脂肪を減らしましょう。

介護・福祉 Q&A 「介護保険制度について」

Q 介護保険の対象は何歳からですか?

A 40歳~64歳の方を第2号被保険者といい、老化に起因する特定疾病により介護が必要となった場合、サービスを利用できます。保険料は、加入医療保険に上乗せし納付します。

65歳以上の方は第1号被保険者といい、介護が必要となった場合、原因を問わずサービスを利用することができます。保険料は、所得に応じて6段階に分け、年金又は納付書により納めることとなります。

Q 介護サービスを利用するにはどうしたらよいですか?

A 介護保険サービスを利用するには、心身の状況をチェックする要介護認定(要支援1・2、要介護1~5)を受けなければ、サービスを利用することができません。介護サービスを利用したい場合には、苦前町役場しあわせ

係及び古丹別支所窓口において申請手続きをしてください。

Q 介護サービスの利用料はいくらですか?

A 介護サービスを受ける場合には、費用の1割が自己負担となります。介護サービスは、在宅サービス(ヘルパー、デイサービス、訪問看護、ショートステイ等)と、施設サービス(老人福祉施設、老人保健施設、療養型医療施設等)があり、在宅サービス費用は、1回の利用につき500~2,000円程度、施設サービス費用は、1か月につき4万~6万円程度が目安となります。なお、サービス費用は、要介護度等により金額が異なりますので、利用する際はご確認願います。

お問い合わせ 苦前町役場町民課しあわせ係
0164-64-2215(内線226)まで

スマイル 住まいる情報 Information

労働保険
年度更新の
手続きは、
正しく
お早めに！

平成18年度確定保険料・平成19年度概算保険料の申告・納付は、平成19年5月21日(月)までに手続きを！

平成19年度労働保険年度更新から、石綿(アスベスト)健康被害救済のための「一般拠出金」の申告・納付が始まります。

年度更新についてのお問い合わせは、留萌労働基準監督署(0164-420463)まで

平成19年度自衛隊一般幹部候補生等募集

種 目	応 募 資 格	締め切り	試験期日	試験期日
一般幹部候補生	22歳以上26歳未満の者	5月11日(金) (締切日必着)	5月19日(土) (一次試験)	筆記試験 ・一般教養(大学教養課程修了程度) ・専 門(大学専門課程修了程度)
海上技術幹部候補生				筆記試験 ・一般教養(大学教養課程修了程度) ・専 門(大学専門課程修了程度)
歯科幹部候補生	20歳以上30歳未満の者 大学において歯学課程終了 (見込み含む)	5月11日(金) (締切日必着)	5月19日(土) (一次試験)	筆記試験 ・一般教養(大学教養課程修了程度) ・専 門(大学専門課程修了程度)
薬剤科幹部候補生	20歳以上26歳未満の者 大学において薬学課程終了 (見込み含む)			筆記試験(小論文) 口述試験および身体検査
医科・歯科幹部自衛官	専攻学科、経験年数免許等の条件があります。 細部は問合せください。	5月25日(金)	7月 3日(火)	筆記試験(一般教養・小論文) 口述試験および身体検査
海上自衛隊技術幹部		5月25日(金)	7月 3日(火)	筆記試験(一般教養・小論文) 口述試験および身体検査

お問い合わせ 各市町村自衛官募集担当者 自衛隊旭川地方協力本部留萌地域事務所 0164-42-4650

「手をつないだらここが一番！見えてきた」

問：萌える天北オロロンルート運営代表者会議事務局
電話：0164-42-3871 FAX：0164-42-3856
e-mail→tenpoku-ororon@moeru.fm
Blog→fine.ap.teacup.com/moetenororon

萌える天北オロロンルート④

■「萌える天北オロロンルート」授賞式
3月11日(日)にフォトコンテスト表彰式を行いました。
皆さんのマチで巡回展示会を開催します。
ラルズプラザ留萌店で表彰式が行われました。

■「前町で開催される「桜まつり」を紹介！

5月の桜前線に合わせ桜やツツジ、約千本が開花する公園内で地元よきこいチームの演舞や子供舞踊、カラオケ大会や歌謡ショーなどが開催されます。

会場内には特産品のジンギスカンの販売や町内の各商店・団体など多数の出店しています。

また、花木の即売会も併せて開催いたします。皆さん、足を運んで見てください。

日時 平成19年5月13日(日)
午前9時(予定)
場所 古丹別緑ヶ丘公園
問合せ 桜まつり実行委員会
田口 ☎65・3311

ファイヤー通信 春の火災予防運動実施

『消さないで あなたの心の 注意の火』
実施期間 4月20日(金)～4月30日(月)

重点目標

- ・住宅防火対策の推進
- ・放火火災・連続放火火災予防対策の徹底
- ・特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- ・林野火災予防対策の推進
- ・乾燥時及び強風時の火災発生防止対策の推進
- ・住宅用火災警報器等の普及促進

タバコによる火災、未だ減らず！
タバコによる火災を無くすためにも寝タバコ等はしないよう、またさせないようしましょう。



火遊びは非常に危険です！
子供に火遊びをさせないよう注意しましょう。

尖事・救急は119番！ 北留萌消防組合消防署 古前支署 64-2321
" 古丹別支署 65-4119

「緊急地震速報」

「緊急地震速報」は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模（マグニチュード）、各地の震度などを推定し、地震による強い揺れが始まる数秒〜数十秒前に、大きな揺れが迫っていることをお知らせすることを目指しています。

しかし、「緊急地震速報」は、いつでも事前に揺れがくることをお知らせできるわけではなく、震源に近い所では、情報の提供が主要動（大きな揺れ）の到達に間に合わないことがあります。

この情報は今年9月頃を目途にテレビ等を通じて皆様にお知らせすることを目指しています。

住民の皆さんが、緊急地震速報を聞いたときの行動で重要なことは、『周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保することです。』

例えば、家庭では、頭を保護し、大きな家具からは離れ、丈夫な机の下などに隠れる。

あわてて外へ飛び出さない。

などの行動を心得ておく必要があります。

問合わせ先
旭川地方気象台防災業務課
電話：〇二六六二二一七〇二

山菜採りによる事故を防ぐために

山菜採りに無我夢中に落とし穴、例年、たくさん山菜愛好家が行者ニクやタケノコ等の山菜採りのために入山し、道に迷ったり、沢へ転落する事故が起きています。

慣れた山でも、油断するとそこに事故の「落とし穴」があることを忘れずに山菜採りを楽しみましょう。

【事故を防ぐためのポイント】
一人では山菜採りに行かない。
家族等には必ず行き先と帰る時間を知らせる。
一緒に入った仲間と声を掛け合ったり、ラジオを鳴らすなど、絶えず位置を知らせ合おう。
歩いた場所がわかるようにテープ等で目印を付ける。
万が一に備え、目立つ服装をし、携行器具を携帯する。
携帯電話や非常食、熊除けのために鈴やラジオを携帯する。
熊の出没情報に注意すると

最近の開放式小型湯沸器による一酸化炭素中毒死亡事故が発生しています。開放式小型湯沸器を室内で使用する場合には、換気が十分に行わなければなりません。換気が不十分な場合、不完全燃焼を起こし一酸化炭素中毒になる場合があります。

消費者の皆様が製品事故から身を守るためには、リスクを適切に認識し、製品を正しく使用する事が重要です。

このため経済産業省では、毎月第二火曜日を『製品安全点検日』とし、製品の安全な使用方法やリコール製品等について情報提供・注意喚起を行うこととしました。

第二火曜日は、「火に注意」して、一酸化炭素中毒事故や漏電による発火やその他の製品事故を防ぎましょう。

詳しくは北海道経済産業局のホームページ
http://www.hkd.meti.go.jp/hokih/consumer/anzhen_kakuno.htmをご覧ください。

戸籍の小箱
謹んでお悔やみ申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
増川 利一郎 (77歳)	2月16日	苫前	
鹿内 ミユキ (97歳)	2月19日	古丹別	
丸山 由蔵 (96歳)	2月19日	力昼	
伊藤 幸子 (81歳)	2月23日	旭	
赤坂 時江 (83歳)	3月8日	苫前	
工藤 キミ子 (83歳)	3月10日	苫前	
山本 國彦 (87歳)	3月11日	苫前	

ご成長を お祈り申し上げます

氏名 父・母 出生日 住所
瀬川 天夢 (男) 大貫 / 春奈 3月3日 古丹別

「ご厚志に感謝します」

苫前町への寄付	札幌市 高橋 茂夫 様
苫前町 竹内 勝夫 様	社会福祉協議会への寄付
苫前 赤坂 政幸 様	各町内会・クラブ等への寄付
(港町内会)	余市町 増川 正美 様
(長島老人クラブ)	長島 丹羽 貞子 様
(苫前はまなす老人クラブ)	苫前 赤坂 政幸 様
(苫前町遺族会)	東川 合田 明光 様
古丹別各小中学校・公民館・保育所へ雑巾の寄贈	古丹 別婦人会 様

平成19年度調理師試験受付

試験期日 8月29日(火)午後1時30分～午後4時
試験場所 滝川市
願書受付 留萌保険福祉事務所保健福祉部
受付期間 5月7日(月)～6月3日(金)
受験資格

義務教育を受けた者で、多数人に対し飲食物を提供する学校・病院等の施設又は、食品衛生法施行令第5条第1号の飲食店営業、第11号の魚介類販売業、第28号の惣菜製造業において、平成19年6月1日までに2年以上の調理の業務に従事した者

提出書類 調理師試験受験願書 1部
調理師試験受験者整理カード 1部
手数料 6,700円に相当する額面の北海道収入証紙を所定の箇所貼り、印章または署名により消印すること

問合せ先 留萌保険福祉事務所保健福祉部
子ども・保健推進課保健予防係
住所：留萌市住之江町2丁目1-2
場所：0164-42-8326(ダイヤルイン)

3月26日 修了式 第44回古丹別保育所児 12名



3月24日 卒園式 第47回苫前保育園児 11名



3月19日 卒業式 第105回古丹別小学校卒業生 15名



3月20日 卒業式 第109回苫前小学校卒業生 11名



3月12日 卒業式 第60回古丹別中学校卒業生 12名



3月12日 卒業式 第60回苫前中学校卒業生 13名



3月1日 卒業式 第54回苫前商業高等学校卒業生 26名



風力発電の売電状況
(風 来 望)

19年度売電累計	5,793,682円
(昨年実績)	6,146,894円
平成19年3月分の実績	
・供給電力量	461,740kWh
	5,793,682円
(昨年実績)	6,146,894円

地球が怒っているのか？地球が助けを求めているのか？それとも地球が人間に何かを訴えているのか？3月25日に能登半島沖でマグニチュード7.1の地震が発生し、4月2日には南太平洋ソロモン諸島付近でマグニチュード8の巨大地震が発生している。世界中のどこで大地震が発生するかわからない状況だ。「災害は忘れた頃にやってくる」のではなく、「忘れる前に起きる」4月1日には、静岡県清水区で気温31.8度を記録し、早くも全国初の真夏日を記録している。当町では、第8回目になる「雪合戦大会」が初めて雪不足のために室内競技に変更となった。このような自然状況の中、先日、町公民館で救急救命士等の消防職員や医師、看護師ら約50人が札幌や紋別、十勝方面の全道各地から集結し、災害医療に係わる勉強会が開催された。主たる内容は、トリアージ、地震などの災害において、多数の疾病者が発生した場合に重傷度と緊急性などによって、疾病者を素早く区別判定するという災害医療のひとつである。この勉強会が自主的に自費で開催され、今後も継続して行われるという。「備えあれば憂いなし」と言いが、地球規模で大規模な自然災害が発生しているなか、人命を救うためのこのような自主的な勉強会はとも重要なことである。勉強会に参加している方がとても格好良く見えた。自然災害や異常気象を引き起こす原因は、人間の仕業にあるのかもしれない。これまで以上に、地球を大切にすることを高める必要があるのでは・・・